

わかさ 社協だより

住民一人ひとりの力がつながり、大きな輪になるよう活動を支援していきます

令和5(2023)年

Vol. 90

2月15日発行



世久見区



岩屋区



田上区

《特集 P2》児童遊具設置修繕費用助成事業

- | | |
|------------------------------|--|
| P3. 小地域福祉活動推進モデル事業 | P8. 災害ボランティアセンター運営支援に関する協定締結
買物送迎ボランティア 安全運転講習会 |
| P4~5. 令和4年度赤い羽根共同募金 実績及び事業報告 | きやま虹の家×地域とつながる「しめ縄リース」 |
| P6. ちょボラのススメ | やさしさをありがとう |
| P7. キラめく福祉人 | |



この広報紙は共同募金の配分金を受けています。

児童遊具設置修繕費助成事業

集落内の滑り台・ブランコ・シーソー等の児童遊具を新しく設置・修繕することで、身近な場所で子どもが安心してのびのび遊べる環境づくりを支援しました。

今年度は、申請を受け付けた5集落へ費用の一部を助成しました。修繕後の遊具で、集落の子どもたちがいきいきと遊ぶ様子がみられました。
※この事業は今年度の歳末たすけあい募金を活用させていただきました。



修繕



滑り台の腐食部分や床板を取替え・塗装



ブランコ・滑り台・鉄棒の腐食部分や錆びた部品等を取替え・塗装



ブランコの吊り具等を交換

見守りベンチ設置



無悪区



横渡区

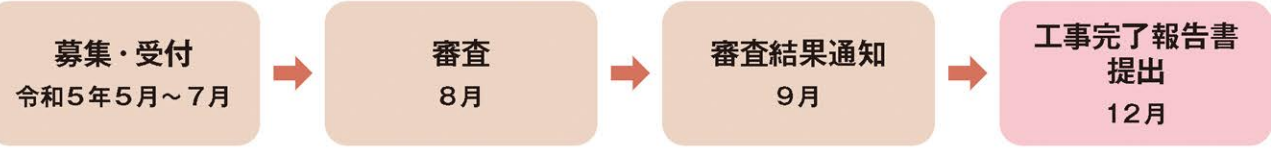
保護者の声

塗装がきれいに
なるとても
気持ちいいです。

部品等の交換もしてくれて、
なにより安心して
遊ばせてあげられます。

令和5年度児童遊具設置修繕費助成事業(予定) ※変更になる場合があります。

助成範囲: 滑り台・ジャングルジム・シーソー・ブランコ・ベンチ等の児童遊具
助成額: 新設・修繕工事に必要な費用の2分の1以内で5万円を限度とする。



【問い合わせ】 若狭町社会福祉協議会 いずみ事業所 地域福祉事業 TEL:0770-45-2837

小地域福祉活動推進モデル集落活動紹介

「小地域福祉活動推進モデル集落」とは?

住民主体で集落を良くしていこうとする活動を、若狭町社協がサポートします!
モデル指定期間は3年間で、単年度ごとに上限10万円を助成し、指定期間終了後も活動を継続していくことを目標に取り組んでいただきます。
※この事業は共同募金の助成金及び社協会費を一部活用しています。



下野木区 の取組み

「目指そう みんなが誇れる下野木を!!」

下野木区では、子ども同士のつながりや高齢者の安心安全のための活動、異世代交流等に令和2年4月から3年間取り組んでいます。

活動を始めてすぐにコロナ禍となり、区民が集うことが困難となりました。そのような状況でも、感染対策をしながら区民全員参加のラジオ体操や、夏休み子ども寺子屋は毎年実施し多くの参加が得られました。異世代交流としてサロン会員と小学生が交流できる会も実施しました。

3年間の主な活動

- 異世代交流 …… マジックショー、ビンゴ大会、ニュースポーツモルック大会等
- 安全安心を支える活動 …… 高齢者を対象としたサルコペニア健診、防災教室の実施
- 区民全員参加ラジオ体操 …… 子ども会だけで行っていたが区民全員に参加を呼びかけ
- 夏休み子ども寺子屋 …… 学習会、卓球、百人一首
日赤奉仕団と連携してハイゼックス米を炊きあげる体験

異世代交流が実現でき、交流を深めることができました。ラジオ体操では、隣の集落にも呼びかけたところ、親子での参加があり、子どものつながりを深めるきっかけになりました。また、集落内の他の団体と協力することもでき、集落ぐるみでの継続・指導者の確保にもつながっています。



下野木区代表 田中 孝明さんから一言

今は、隣近所でも会話や助け合いが少なくなってきたと感じます。そんな時こそ人と人とのつながりや絆が大切です。昔ながらの下野木の良さを復活を願っています。

【問い合わせ】 若狭町社会福祉協議会 いずみ事業所 地域福祉事業 TEL:0770-45-2837



令和4年度 赤い羽根共同募金運動

10月1日から今年3月末まで実施の共同募金運動に、地域のみなさまから心あたたまるお気持ちをお寄せいただいております。期間最後までより一層のご理解、ご協力をお願い申し上げます。

目標額：2,900,000円

一般募金：1,500,000円 歳末募金：1,400,000円

募金額：2,926,402円

一般募金：1,563,024円 歳末募金：1,363,378円

(令和5年1月31日現在)



各集落での袋募金以外でお預かりいたしました募金は以下のとおりです。(敬称略・順不同)

企業・医療機関・学校・団体等

つくみ福祉会若狭事業所
松寿苑職員一同
(株)西野土木社員一同
みそみ買い物メイト
三宅小学校
瓜生小学校
気山小学校
野木小学校
熊川小学校
三方小学校
上中中学校
鳥羽小学校
梅の里保育園
県教職員組合三方上中支部上中学校分会
髪処ほそかわ

募金箱

PLANT-2募金箱
レビア募金箱
つくみ福祉会若狭事業所募金箱
松寿苑募金箱
わかさ東商工会上中支所募金箱
若狭三方五湖観光協会募金箱
道の駅若狭熊川宿募金箱
梅の里会館募金箱
千葉医院募金箱
嶺南こころの病院募金箱
三方診療所募金箱
上中診療所募金箱

レイクヒルズ美方病院募金箱
関根医院募金箱
加藤医院募金箱
とむらクリニック募金箱
中村歯科医院募金箱
楓歯科医院募金箱
若狭ものづくり美学舎募金箱
若狭町役場三方庁舎募金箱
若狭町役場上中庁舎募金箱
パレア若狭本所窓口募金箱
パレア若狭本所職員募金
いずみ事業所窓口募金箱

いずみ事業所職員募金
五湖の郷事業所窓口募金箱
五湖の郷事業所職員募金
きらやま茶屋募金箱
きやま虹の家募金箱
ほたる熊川宿募金箱
みさき募金箱

個人

匿名(6名)

一般募金助成金事業報告

昨年度の赤い羽根共同募金の地域助成金を活用させていただきました。(今年度の募金は来年度の助成金として活用されます)



福祉団体等への助成

助成額：430,000円

自分たちの地域を少しでも良くしようと取り組んでいる団体や学校、児童福祉施設が行う福祉事業に対して助成しました。

助成団体 11 団体



きらりアート展

助成額：300,000円

障がいや特別な支援を要する方、児童生徒たちのアートを一堂に集めた『きらりアート展』の開催費用の一部に活用しました。県内から絵画、書など210点の応募がありました。

小地域福祉活動推進 モデル集落への助成*

助成額：500,000円

小地域福祉活動推進モデル集落として指定した6集落に活動のための費用として助成しました。

要援護者支援調査

助成額：159,550円

町内在住の支援が必要な方達への調査や支援を行う費用として活用しました。

広域助成金

助成額：576,000円

県内の広域的な課題を解決するための活動や大規模な災害が起こった時の準備金として備えました。

歳末たすけあい助成金事業報告

今年度の歳末募金を活用させていただきました。



障がい児クリスマス会

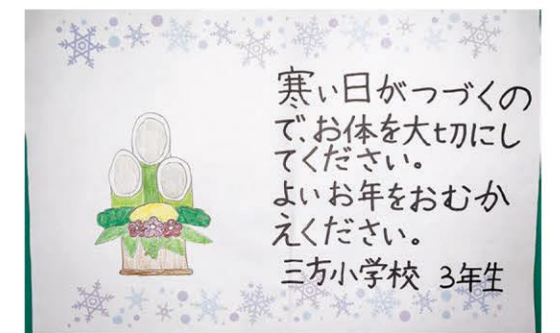
助成額：100,000円

「若狭町知的障害児(者)家族の会 のぞみ会」の企画のもと、障がいを持った子どもたちと、その家族を対象にみそみ公民館にて実施しました。サンタクロースからのプレゼントもあり、参加者の笑顔あふれるイベントとなりました。

広報啓発活動

助成額：677,600円

『わかさ社協だより』など地域福祉推進のための広報活動にかかる費用の一部に活用しました。



歳末たすけあい ひとり暮らし高齢者激励事業

助成額：252,962円

町内ひとり暮らし高齢者の方へ福祉委員の皆様にご協力いただき食品や日用品などをお届けしました。

三宅・野木・みそみ・三方小学校の児童、上中中学校の生徒の皆様からのあたたかい手書きのメッセージも同封しました。ご協力いただいた皆様、ありがとうございました。

児童遊具設置修繕費助成事業

助成額：174,000円

児童遊具の設置・修繕が必要な5集落へ費用の一部を助成しました。

*付きの事業は、共同募金地域助成金以外の財源もあわせて活用し事業を実施しております。

事業ごとの助成額は、共同募金地域助成金のみを記載しております。

#ちょボラのススメ

みなさんはボランティア活動にどんなイメージをお持ちですか？
ボランティア活動というと、「自分には関係ない」「大変そう」と思う方もいらっしゃるかもしれませんね。
実は、自分の得意な事や、趣味がボランティアに繋がります！
自分が出来る範囲で活動する、ちょっとだけのボランティア“#ちょボラ”の活動を紹介します！

「手話で広がる子どもたちの笑顔」



まえだ みほこ
前田 美保子さん
(美浜町)

本会のボランティア出前講座を通じて、子どもたちが手話を楽しく学べるように、若狭町内の各小学校で手話講師として活動をされています。
今回は、手話で繋がる活動の様子や魅力について取材させていただきました。



鳥羽小学校にて手話体験の様子

手話をはじめようと思ったきっかけは何ですか？

高校生の頃、「遙かなる甲子園」という漫画の中に手話が出てくるシーンがあり、興味を持ち、自分もやってみたいと思ったことがきっかけでした。
そこから県内で開催されている教室に通い、手話の勉強をしました。

手話講師としてやりがいを感じることは何ですか？

子どもたちへ手話を教えている中で、子どもたち同士がニコニコと笑顔を見せ、覚えてたの手話で楽しそうに会話しているのを見た時にやりがいを感じます。

お仕事はなにをされていますか？

三方の中央保育所で保育士をしています。
以前は違う仕事をしていましたが、26歳の頃、週1回講師として三方小学校の手話クラブへ行っていました。
そのことがきっかけで、子ども達に携わる仕事がしたいと思い、短期大学へ通い28歳の時に保育士になりました。

前田さんにとってボランティア活動とは？

私自身、手話を教えていることはボランティア活動という意識はありませんでしたが、結果的に自分の好きなことがボランティアに繋がるということを知り、嬉しく思いました。
手話はいろんな人に出会えるチャンスであり、とても楽しい時間です。

今後の目標を教えてください

手話は、相手に自分の気持ちを伝えて、コミュニケーションを取ることができる手段のひとつです。
今後も手話の魅力を伝え続け、学びたいと思う人が増えるように積極的にボランティア活動に取り組んでいきたいです。



鳥羽小学校の児童のみなさんと手話を使って集合写真

若狭町社協では、ボランティア活動の応援をしています！
自分の得意なことを地域のために役に立てたい方、ボランティアの依頼をしたい方は、お気軽にご相談ください。

【問い合わせ】 若狭町社会福祉協議会 パレア若狭本所 地域福祉事業 TEL:0770-62-9005

キラめく福祉人



もりした
森下 はるかさん
(25歳)
職 種 保健師
勤務先 若狭町役場
健康医療課

健康診断を実施し、前年度に比べて結果が大きく変化している方や病気のリスクが高まっている方に、今の体の状態を説明して、生活習慣の見直しや病院受診のきっかけづくりを行っています。
また育児の悩みを相談できる場所や必要な支援があれば、そこに繋ぐ役割をしています。大変なことを共有して一人じゃないと思えたり、前向きに育児ができるように手助けをしています。

住民の皆さんが健康でいられるように「予防」に視点をおいて、健康のサポートをさせていただいています。

子どもの頃体が弱く喘息があり、通院や入院をした経験があります。その時、元気に学校に通って走り回れることはすごく大切なことだと実感し、将来は健康に携わる仕事がしたいと思うようになり、また自分が入院していた経験から、自宅などなるべく自分が安心できる場所まで過ごしたいと思っていたので、病院ではなく地域で健康に携わる仕事がしたいと思い、保健師を目指しました。

「保健師になろうと思ったきっかけは？」

なぜ若狭町で就職しようと思ったのですか？

自分が健康や町に関心を持ったのは若狭町で暮らしていたからこそで、自分の町について知りたいと思ったことが大きな理由です。また祖父が認知症になり、大学生の頃実家に帰るたびに少しずつ状態が変化していく様子を見て、自分にも何かできることがあるのではないかと、若狭町での就職を決めました。

仕事をやるうえで、心掛けていることは？

専門職として関わりますが、まず一番に住民さんの立場ならどうかと考えることを心掛けています。
私たちの当たり前と住民さんが考える当たり前は違うので、住民さんの思いを大切に。住民さんだったらどう思うかな？この表現は伝わるかな？と考えるようにしています。

やりがいをを感じる時は？

私たち保健師は病気の予防という観点から住民さんと関わっているのですが、結果がすぐに見えるわけではありません。これでもいいのだろうかと思うこともあり、関わった方が生活の改善をされたことで、数値が良くなったと教えてくださったり、住民さん同士で健康について話をされているのを聞いたとき、私が関わる事によって少しでも生活の変化があったのかなと思いつい、この仕事をしてよかったと感じます。

目指しているところは？

健康というのは、体・食事・運動だけをみていたらいいのではないと思っています。楽しいから参加していただければいいというふうな、自然に楽しく健康について考えられる仕掛けを作っていきたいと思っています。そのために町全体で色々な分野と協力して、住民さんがわくわく楽しめる健康づくりをしていけたらと思っています。

福祉の仕事を知ってもらうために一言！

大学生の時に先生から最初に教えてもらったことが印象に残っています。「福祉」を辞書で引くと何という言葉が出てくるかと思う？という質問があり、調べてみると「幸せ」や「幸福」という言葉でした。福祉には色々な分野や様々な関わり方がありますが、繋がることは必ずその人の「幸せ」なんだと思えば、その福祉に携われることは素敵な仕事だと誇りをもっていきます。



H&Aフェスタでの
血圧値説明の様子

災害に強い安全な町づくりを!

令和4年11月30日、右記の三者において「若狭町災害ボランティアセンターの運営支援に関する協定」を結びました。

若狭町で災害が発生し災害ボランティアセンターを設置した際に、必要な資機材や人材の確保におけるセンター機能を強化し、住民の安心・安全のために運営していきます。

【災害時における協力協定】

- ・若狭町
- ・社会福祉法人 若狭町社会福祉協議会
- ・若狭ライオンズクラブ



安全運転講習会を実施しました!

買い物送迎ボランティアを行っている、みそみ地区の「みそみ買い物メイト」・明倫地区の「明倫買物クラブ」の皆さんを対象に運転講習会を実施しました。

この講習会は安全運転の意識を高めるために、令和2年度から開催しています。今年度は、敦賀警察署交通課のご協力のもと18名が受講しました。

VR(バーチャルリアリティ)を用いてリアルな映像を見たり、実際のドライブレコーダーの危険な映像を見せていただき、今一度自分の運転の見直しが出来ました。

来年度以降もボランティアの皆さんが安全に活動できるように、運転講習会を行っていきたく考えています。



きやま虹の家×地域とつながる「しめ縄リース」

小規模多機能ホーム「きやま虹の家」では、利用者様と職員が協力してしめ縄リースを作成し、感謝の気持ちを込めて、コロナ禍で交流が出来なくなっている地域の方々や保育園や小学校へ配布しました。

受け取った方々からは、「手作りならではの温かみがあり、とても嬉しいです。」「直接持ってきていただいて、顔を見て話しが出来て良かったです」等の声が広がりました。

コロナ禍の今、お世話になっている方々へ感謝の想いを伝え続け、これからも地域とのつながりを大切にしていきたいと考えています。

● 小規模多機能ホームとは

利用者様の心身の状態や希望に応じて「通い」を中心に「訪問」や「宿泊」を組み合わせ、住み慣れた地域で生活ができるよう支援しているサービスです。



「社会福祉事業に役立てて下さい」と下記の方々からご寄付をいただきました。預託や寄付いただきました金品は、地域や若狭町社会福祉協議会にて有効に使わせていただきます。

下記以外にも多くの方々からエコキャップ等のご寄付をいただきました。ありがとうございました。

令和4年11月1日～令和4年12月31日 (敬称略・順不同)

福祉基金

匿名(若狭町倉見)	50,000円	長塚 良博(若狭町白屋)	100,000円
匿名(若狭町鳥浜)	100,000円	若狭テクノパークランドゴルフ愛好会(若狭町杉山)	12,050円
若狭町立三方中学校(若狭町北前川)	14,330円	ランドゴルフ若狭協会(若狭町杉山)	11,730円
匿名(若狭町三宅)	2,909円	三方地区明るい社会づくり推進協議会(若狭町気山)	30,000円
匿名(若狭町南)	10,000円		

物品預託

匿名(若狭町飯屋)	衣類	みそみ女性の会	石鹸
JA福井県 女性部	ティッシュペーパー	第一生命保険(株)新敦賀営業オフィス	タオル